

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2018年11月16日

野菜よもやま話

ごぼう畑へ

薄群青の空の下、赤トンボに追い越されながら歩いて香取市の生産者・秋葉一さんとごぼうの畑に行きました。淡い黄緑色の葉が茂っている畑が見えてくると、ところどころ背の高い茎がひょこっと顔を出しています。「これがごぼうの花だよ。」と教えてくれました。今年の夏は暑さが厳しかったせいでしょうか、例年ならほとんど見ないごぼうの花をいくつも見ます。「トウ立ちしたらごぼうは収穫できないね。栄養がもってかれて美味しくないから。」と秋葉さん。生産者にとっては、あまりうれしくないごぼうの花。

近寄ってみると、それは1mほどの背で、てっぺんにあざみの様な花をつけています。5～6個ついたつぼみには無数のトゲトゲがついていて、その先からは濃紅色の花びらを覗かせています。「ドライフラワーにしても素敵かも。」触れてみるとトゲの先はかえしがついていて引っかかります。子供のころつけて遊んだ“ひつつき虫”を思い出し、ああ懐かし～。

姿が似ているので調べてみると、ごぼうも、あざみも、ひつつき虫（おなもみ）も、全てキク科の仲間でした。今年も香りのよいごぼうがとれています。ごぼうたっぷりあったかい豚汁で、ほっこり秋を感じています。

(B)



珍しいのに生産者には喜ばれないごぼうの花